

事前評価個表

整理番号	71
------	----

地域（地区）名	<small>おおたがわ</small> 太田川地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	広島県	対象市町村	広島市ほか3市町
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	市町、森林組合等

事業の概要・目的	<p>太田川地域は、広島県の西部に位置し、西は山口県、北は島根県と境を接しており、南は瀬戸内海に面している。主要河川である太田川の下流には、広島市を中心とする都市が集中している。</p> <p>この地域は、雨量が多く、冬期は積雪が極めて多い気候に加え、花崗岩類の崩壊し易い地質や急峻の地形が多いことから、水源かん養機能や災害防止機能といった森林の公益的機能の持続的な維持・発揮が期待されている。</p> <p>本地域は、県下でも有数の林業地帯であり、スギ及びヒノキの人工林は伐期適齢期を迎えつつあり、県産材の安定的な生産・供給への期待が高まっている一方で、小規模零細な所有形態の団地化や搬出コストの縮減等の持続的林業経営の体制づくりが課題となっている。</p> <p>事業実施による県産材の安定的な生産・供給を行うことで、流通、加工、消費を通じた供給体制を構築するとともに、森林の公益的機能の持続的な維持・発揮が期待できる。</p> <p>事業実施による森林の公益的機能が持続的に維持・発揮されることにより、農業環境、漁業環境への保全効果が高められ</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：12,003ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：3,589,200千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 6.41 (総便益(B) = 36,712,815千円、総費用(C) = 5,721,707千円)</p>
評価結果	<p>必要性：森林整備が必要な森林が多く存在することから、森林の公益的機能を高めるためにも事業実施は必要である。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：資源として本格的に利用可能な段階を迎えている人工林等を適正に整備することにより、公益的機能の発揮と県産材の安定供給が図られ有効である。</p> <p>森林は多面的な機能を有しているが、これらの機能を一度失うとその回復には長期間を要することから、生育段階や立地条件に応じた適時・適切な森林整備が不可欠である。 本計画では、森林の公益的機能の発揮に配慮した計画としているほか、効率性や有効性が認められることから本計画を実施することは適当である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

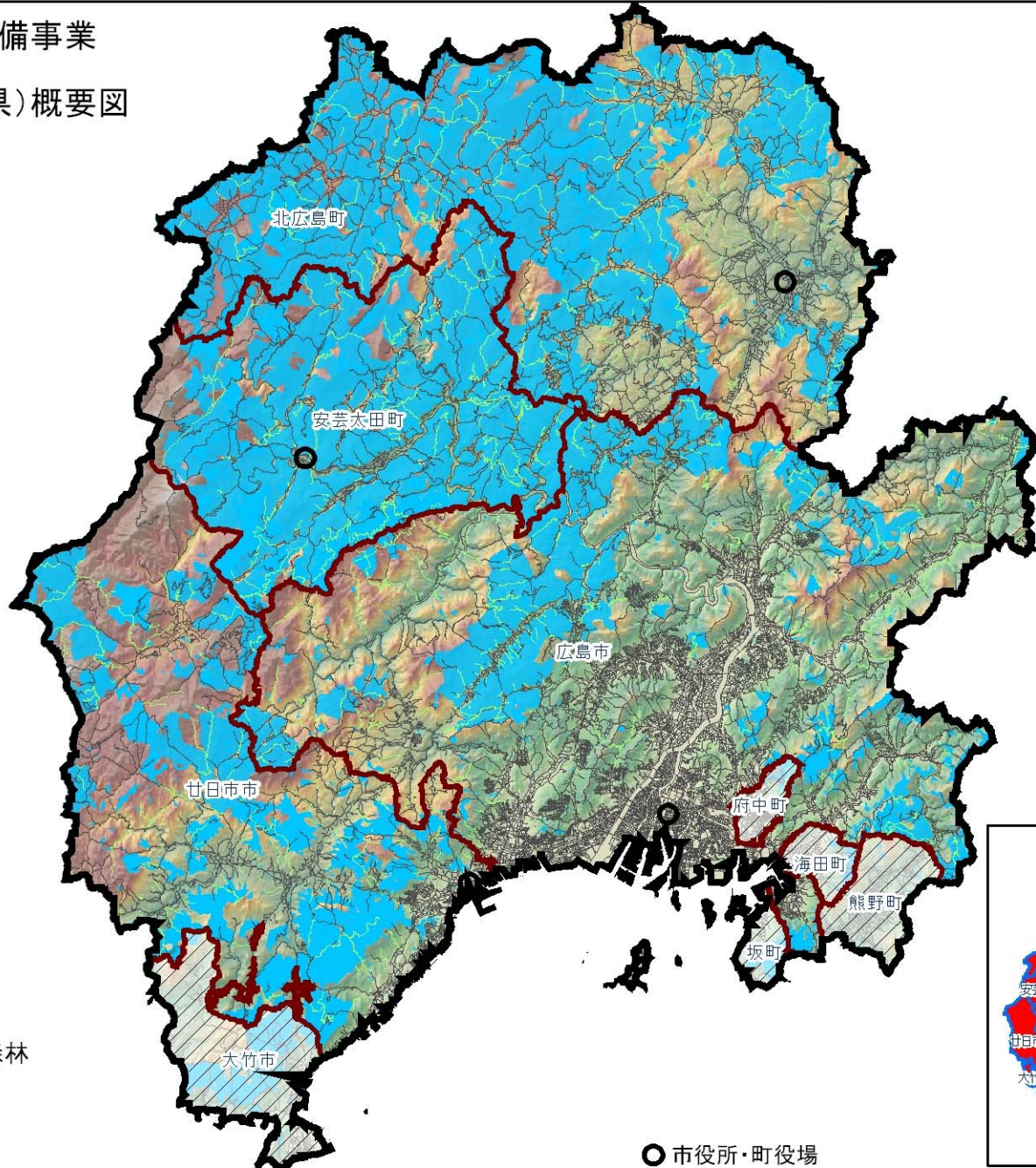
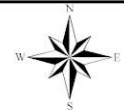
事業名: 森林環境保全整備事業
地域名: 太田川

広島県
(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	10,885,936	
	流域貯水便益	4,534,293	
	水質浄化便益	7,740,934	
山地保全便益	土砂流出防止便益	12,000,599	
	土砂崩壊防止便益	7,336	
環境保全便益	炭素固定便益	812,059	
木材生産便益	木材生産確保・促進便益	731,658	
総 便 益 (B)		36,712,815	
総 費 用 (C)		5,721,707	
費用便益比	$B \div C = \frac{36,712,815}{5,721,707} = 6.41$		

森林環境保全整備事業

太田川地域(広島県)概要図



凡例

-  計画区界
-  森林整備対象森林
-  事業区域外

○ 市役所・町役場

